

生育と管理



令和8年1月号
宇佐市農政課/ 大分県北部振興局生産流通部集落営農・水田畑地化第一班

●麦の管理

◆麦踏み

麦踏みは地上部に刺激を与えることで根に力が蓄えられ、分げつが促進されます。2月末までに**3回実施**を目指してください。

※注意点

根への影響を小さくするため、大型機械での作業は避けてください。粘質土壌では作業回数は少なめにしてください。

◆雑草対策 ～生育期の除草適期～

雑草が繁茂すると**収量や品質の低下**を招きます。雑草が小さいうちに**早めに薬剤等での防除**をしてください。

【麦の生育期除草剤】

		ハーモニー 75 DF 水和剤	MCPソーダ塩	バサグラン液剤	アクチノールB乳剤
スズメノテッポウ	雑草生育ステージ	5葉期まで ※注1	—	—	—
カズノコグサ		1～2葉期まで	—	—	—
ヤエムグラ		4節期まで	1～4節期まで	3～6節期まで	4節期まで
カラスノエンドウ		—	1～4葉期まで	3～6葉期まで	2～3葉期まで
タデ		5葉期	—	—	生育初期
使用時期		小麦 は種後～穂ばらみ期（但し収穫45日前まで） 大麦 は種後～節間伸長前	幼穂形成期 但し収穫45日前まで	小麦 収穫45日前まで 大麦・裸麦 収穫90日前まで	穂ばらみ期まで
使用回数		1回	1回	1回	2回

※注1 ハーモニーは、連年施用するとスズメノテッポウに対し、効果が劣ることがあります。

除草剤散布直後の雨と気温の上昇に注意！

- ・散布直後に雨が降ると除草剤が効きにくくなります。
- ・気温が上昇する(気温20℃以上)と、薬害のリスクが高まります。
- ・天気予報や土壌水分を確認して除草剤を散布しましょう。

HPからも見れます！
(毎月1日更新)



スズメノテッポウ
(5葉期頃)

ヤエムグラ
(4節期頃)

◆肥培管理

●分げつ肥

莖数を確保するため、適期に適量散布してください。

【1回当たりの分げつ肥の10aあたり施肥量】

小麦 大麦 裸麦	適期	施肥量	
	麦の4葉期頃 (12月中旬～1月上旬頃)	窒素量	化成肥料 16-0-16
		2 kg/10a	15 kg/10a

●麦の施肥基準

パン用小麦「はるみずき」のタンパク含有率確保に努めましょう！

パン用小麦タンパク質含量目標値：13.5%**以上**

※実需者ニーズに加え、交付金単価を決めるランク区分でも重要な項目です。

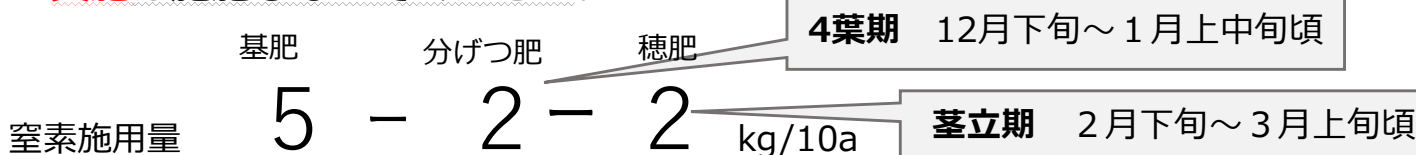
※**穂肥・実肥**はタンパク向上に大きく影響しますので、必ず施用してください。



焼酎用大麦「ニシノホシ」は低タンパクに！

焼酎用大麦タンパク質含量基準値：12%**以下**

※**実肥**は施肥しないでください。



●水田の管理

●スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）対策

◆冬期の耕うん

ロータリー耕うんにより、土塊と一緒にスクミリンゴガイを物理的に破壊します。また、耕うんで貝が破壊できなかった場合でも、貝は寒さに弱いため、耕うんにより地表に出された貝は、寒さにさらされて殺貝できます。

●破碎効果を高めるために、

- ・土壌水分が少なく**田面が固い**ときに耕うんします。
- ・トラクターの**走行速度は遅く**、ロータリーの**回転は速く**、**深度は6 cm程度**にし、土壌を細かく砕くように耕うんします。

●殺貝効果を高めるため、

- ・**厳冬期（1月～2月）**に実施してください。

◆水路の泥上げ

越冬個体が水系を介して地域全体にまん延しないよう、水路内に堆積した**泥の堀り上げ**や、**雑草の除去**を**地域全体**で行いましょう。